

ひがしまえだいかぐら

## 東前太神楽

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 25 年 12 月 24 日

所 在 地：釜石市東前町

保持団体：東前青年会

開 始：天明 3 (1783) 年以降

公開機会：釜石まつり、釜石市郷土芸能祭等



東前太神楽は、釜石の豪商村井家が尾崎神社に奉納したのが始まりといわれています。村井家（アワビ屋）は享保年間までには海産物を開始しており、天明 3 (1783) 年に遠野から釜石に移住しています。太神楽はそれ以降に奉納されたと考えられています。

演目は、通り舞、獅子舞、狂い獅子の東前太神楽に加え、子ども達で構成される東前七福神も一緒に披露されることが多く、活動は活発です。太神楽の演目の中に七福神を加えているケースは市内では他になく、後世に引き継ぐべき貴重な文化財です。



東前七福神